政策研究センター
リサーチ・プロジェクト
成果報告書

提出日: 2016/3/8

	氏名	職名	所属
申請者(リーダー):	山内慎子	助教授	GRIPS

リサーチ・プロジェクト名:

(和文)	婦人科サービスへの需要と母子保健に関する実証研究
(英文)	Demand for maternal care and the health of mothers and children

期間:

2015/4/1 から 2016/3/31 1年間

研究組織:

	氏名	職名	所属機関・部局名	摘要(変更等を記入)
リーダー	山内慎子	助教授	GRIPS	
分担者1				
分担者2				
分担者3				

リサーチ・プロジェクトの目的

この研究は、ウガンダにおける婦人科サービス(妊婦健診、分娩、新生児検診など)やその他の医療サービスの利用状況と家族の健康状態が、簡易な貯蓄サービスを提供することによって改善するか分析する。特に、将来科学研究費等の外部資金を獲得するための事前分析として、(1)婦人科サービスや医療サービスの利用促進に有効と考えられる新しい政策(貯蓄サービス)の詳しい形態、(2)現地の研究協力団体、(3)Randomized Control Trial(RCT、ランダム化比較試験)を行う地域・グループの三つを特定することを目的として始められた。

国連のMillenium Development Goal(MDG)に示されているように、母子保健の向上は広い意味での貧困削減・社会発展に繋がる重要な政策目標である。特に妊婦死亡率や新生児死亡率を下げることは喫緊の課題とみなされているが、ウガンダを含むサハラ砂漠以南のアフリカなどでは、未だに深刻な状態が続いている。妊婦死亡率や新生児死亡率を低下させるためには、定期的な妊婦健診や設備の整った医療施設で分娩することが望ましいが、こうした基本的な医療サービスさえ利用しない女性が多く、どのように利用者を増やすかが重要な政策課題である。

先行研究では、分娩費用を補助する政策や看護婦・助産婦に報酬を与える政策をとっても、分娩サービス利用度はあまり増加しなかったことが報告されている。(Urquieta et al., 2009、Powell-Jackson, Hanson 2012)。しかし、目的をもって貯蓄することを促す政策を施すと予防医療行動が促進されたという報告もある。婦人科サービス利用や急な医療支出のためと使途を明確にした貯蓄サービスを提供すれば、家族の支出計画をはっきりさせサービス利用や健康促進に繋がるかもしれないと考えられる。

研究成果の概要(800字以内):

2014年度の研究結果から(1)については簡易金庫と鍵を供与するという貯蓄サービスが農村部においては最適であるとみなされ、(2)についてはマケレレ大学の調査チームが協力者として選ばれた。このチームとともに農村部の二村から50世帯をランダムに抽出した。これらの世帯の夫婦に対して、村レベルの集会や上記の貯蓄サービス提供を行うとともに、貯蓄サービスが有効に機能するか実証するためのデータ収集が2015年2月に行われた。

2015年3月以降は村のヘルスチームが月二回参加者を巡回し、貯蓄の増え具合や使用具合について簡単な報告をした。また2015年6月・2016年2月にはフォローアップ調査としてより規模の大きいデータ収集を二回行った。その結果、農村地域であるために収穫期は貯金ができる家計が多いが、収穫が底をつく頃になると貯蓄が困難になる家計が出ることが分かった。また、臨時支出が頻繁に起こることも分かった。これには冠婚葬祭、家族の病気・疾病、裁判関係、犯罪関係などが含まれた。プロジェクトでは医療サービスの有効利用が重要視されたが、貯蓄の使い道はこれに限らなかった。このため臨時支出のあった家計の中には、プロジェクトの簡易金庫を使った貯蓄によって急な出費を賄うことができたケースも多くあった。

研究成果:

別紙((成果報告書(研究成果一覧))に記入

その他、研究成果として特記すべき事項:

現在収集されたデータを分析中で、まとまった結果は2016年度に発表される予定である。ここからのフィードバックをもとに論文として完成させ、国際的な学術雑誌への出版を目指す。

(適宜拡大)

研究成果一覧:

(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。)
(必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。)等掲載)
※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください
※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください

0 件　　うち、査読付き　0 件

	著者	標題	雑誌名 /所収図書の編者・図書名・出版者等	巻・号 /章・節	発行年	開始ページ	終了ページ	査読 (有=1)
1							-	
2							-	
3							-	
4							-	
5							-	
6							-	
7							-	
8							-	
9							-	
10							-	
11							-	
12							-	
13							-	
14							-	
15							-	
							-	

図書:
※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください
※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

0 件

	著者・編者	図書名	出版者	発行年	総ページ数
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

口頭報告・学会発表等:
※査読付きの学会論文集は、論文の区分で報告してください。査読なしの学会論文集は、学会発表の区分で報告してください。
※招待講演については、学会等名の後に(招待講演)と明記してください。

1 件

	報告者等	論題	学会・研究会名等	報告年月日	開催場所
1	山内慎子	How can savings opportunities improve household welfare?	GRIPS monthly development economics seminar (予定確約済み)	2016/6/8	GRIPS
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					